学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	（学）チャレンジ	科目	（学）チャレンジG	単位数	１単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学校で開講されている授業や実験実習以外にも、社会必要とされるスキルや経験はたくさんあります。4 年生においては直近の進路決定までに必要な知識・技能が明確に見えてくる時期です。卒業後の職業生活や学校生活をより充実したものにできるよう、必要なスキルや新たな経験の幅を広げていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
教員が設定した体験活動やフィールドワーク等のうち、生徒が自身の卒業後に必要であると考える分野を自ら選択し、その分野に関する新たな知識や技能を発展的に身につける。

【思考力、判断力、表現力等】
自身が実現しようとする進路に関して、科目の取り組みで経験したことをもとに省察し、自身の卒業後の活動に結びつけ表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的にワークショップ等に参加し、新たな分野について学習しようとする意欲や、興味・関心を深め、自身が卒業後のキャリアアップを想定し、積極的に社会に参加する姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自身の進路決定をより充実させると考えたテーマについて、成果物を完成させることやパフォーマンスの向上、知識の深化が効果的にみられる。	成果物やパフォーマンスが完成に向かう過程において、独自の表現にこだわりを持つことや、自ら決定しようとする進路をより充実していこうとする考え方ができる。	それぞれのテーマにおいて興味・関心を持ち、主体的に成果を発揮しようとする姿勢がみられる。また、目標に向かい試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組む姿勢がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
集中講座	一般教養テーマ	社会人基礎力に関する講座 就職活動に関する講座 進学受験に関する講座 SPI に準ずる講座 自己分析と自己表現講座 文章構成の理論講座 面接･応対講座 将来設計講座　など	a:進路実現に必要な実践的な教養について身につけ、定着することできている。 b:身につけた教養について、進路決定に向けて実践的に活用していこうとする考えを表現できる。 c:自らの将来を見据え、必要な教養を積極的に身につけようとする姿勢がみられる。	学習ワーク等	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察
	ワークショップテーマ	系列に関するものづくり 系列の分野外のものづくり 科学実験 生涯スポーツ　など	a:成果物の完成度やパフォーマンスにおいて向上した過程がみられる。 b:成果に対して、うまく取り組めた部分や努力していきたい部分など、自らの過程を深く省察することができている。 c:よりよい成果を得られるよう探究し、試行錯誤を繰り返しながら取り組む姿勢がみられる。	成果物等の完成	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察
	フィールドワークテーマ	地域調査研究 地域連携 地学･測量実践 芸術探究　など	a:選択したテーマに関する知識をより深め、活動のためにより実践的な技能や道具の使い方が身についている。 b:活動を振り返り、自身のキャリアをどのように発展的に規制していくかの考えを表現することができる。 c:選択したテーマにつて興味･関心を持ち、積極的に知識や技能を身につけようとする姿勢がみられる。	テーマに関する教養の深化	レポート等の自己表現課題	取り組み姿勢の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度